



名古屋いのちの電話

木のいのち

丸山 薫

木をめぐる季節の中では、冬が好きだ。なぜなら裸木の姿に、私はいちばん
美しさを感じるからだ。

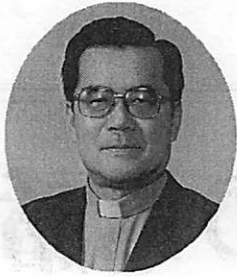
かれらは決して死んではない。眠っているのでもない。蕭条として外見は
冷く、しかもいのちは火のように、春への支度に燃えているのである。

―略―

(丸山 薫全集より)



写真 文珠 幹夫



いのちへの協力

カトリック名古屋教区司教 野村 純一

教会で働いておりました頃、知らない方からの相談の電話をよく受けました。その教会が目につくところにあって比較的知られていたからでしょうか。それとも家族、友人にも話すことができず、安心して話せる場が現在では少なくなってきたからでしょうか。話している内に自分で解決の道を見出すことのできることもあれば、深刻な話もあり一緒に悩んでしまうこともありました。人間は独りで考えていると思考が飛躍したり、一つの方向に偏っていってしまうようです。誰かと一緒になって考えることの大切さを感じました。それと同時に個人的なレベルではなく、社会的なレベルでの解決の必要のある問題も沢山あると思いました。

世界には戦争によっていのちを失っている人たち、難民・避難民となって生活基盤を失った人たち、極度の貧困による飢餓や病気によっていのちを脅かされている人たちが、年々増えつつあります。

日本においても、効率、能力、健康、経済力などが優先される社会になっております。能力などについて他の人から認められていないと思われる時には、存在を否定されているようで居心地が悪くなります。さらにその結果、自分で自分を認められなくなった時には最もつらくなります。福祉など社会環境は良くなってきた面はありますが、その一方で、家族・友人などの絆が弱まり、人間関係が希薄になってきております。明日への不安、病気や孤独の苦しみを独りで背負わなければならないところから、辛い毎日を送らなければならないこともあります。ストレスから暴力をふるったり、他の

人を虐待したりするとき、本人が苦しむばかりではなく、他の人を苦しめることになります。また、不正や不平等の多い世界に愛想が尽きてしまうこともあるでしょう。

人間のいのちは、いついかなるときにも、どのような状況の中にあっても尊いものです。わたしたちは、気が付いた時には生まれていましたし、また、寿命を望みのままに延ばすこともできません。いのちは神から与えられた尊いままのものです。自分のいのちばかりではなく、すべての人が尊いいのちを尊厳をもって生きることができるよう協力することは、人間としての務めです。

過度の効率の追求は弱い者への攻撃となります。いっそうの配慮をもって受け入れられる必要のある弱い立場に置かれた人が、重荷とみなされて排斥されることとなります。差別、不平等、不正義などの容認はいのちの軽視でしょう。いのちが尊いものであると言うとき、いのちに条件を付けずに、いのちを尊重し、守り、慈しむ必要があります。また、わたしたちは協力して生きて行くように創られています。重荷を一緒になって背負ってくれる人がいるとき、自分が人から理解され受け入れられたと感じるとき力が湧いてきます。自分の喜び、苦しみを分かってくれる人に会おう喜びに勝るものはありません。理解し、理解される人間関係を求めています。そのような人間関係が持たたとき、人生が豊かになったと感じます。「喜びは人と分かち合うと倍になり、苦しみは人と分かち合うと半分になる」ということばがありますが、互いに支え合う社会を目指して協力したいものです。

心の時代といわれ、カウンセリングとかメンタルヘルスという横文字が日常語になってから、ずいぶん時間がたちました。が、そのわりに「精神病」のことは皆様に知られていないのではないのでしょうか。

もともと、心の病気には神経症だとか心身症だとか精神病だとか性格（パーソナリティ）の歪みだとか、いろいろごちゃごちゃと似たような名前があって、相互の関係がわかりにくい。

詳しいところをご存じないとしても不思議ではありません。

しかし、ひょっとすると読者のなかには、精神病という名称は神経症より一段重症の場合を指すことをご存じで、電話相談という自分たちの仕事には関係がない、と決め付けている方もおいでになるのではないのでしょうか。

精神病になると理性を失い悩まなくなるから、自殺を考えることはないだろう。それに、精神病の人なら精神病院に入院しているだろうから、自分から電話をかけることはできないだろう。

ところが、そうでもないのです。

* * *

一口に精神病といってもいろいろの場合があるのですが、青年期におこる代表的な精神病である「分裂病」の場合は、心の病のうちで一番自殺のおこりやすいことが知られています。最近の研究は、今まで一番関係が深いと思われていた

「うつ病」という病気の場合より、この分裂病の場合のほうが自殺率が少し高いと指摘しています。

ということは、精神病になると悩まない、とお考えになるのが誤りであることを教えています。悩まないどころか、ある時期にはとても辛い経験をするのです。

それから最近では、精神病院のなかの閉鎖病棟にも公衆電話を設置することが法律によって義務づけられているのです。精神保健福祉法と

いいます。いうまでもなく弱者の人権を擁護するために、です。

ついでに申し上げますと、最近では分裂病の治療はできるだけ通院しながらの治療に変わってきています。これは、どういうわけか今日、精神病の症状が一時代前より軽くなり、そんなに激しい興奮などがおこらなくなったからです。だから入院してもできるだけ早く退院して、外来やデイケアに通います。現実には、精神病院

のなかにいる病人より外にいる病人のほうがうんと多いのです。

ふつうの人のなかに交じって生活するこのノーマライゼーションは、それ自体が若い精神病患者にとっての上なく効果のある治療法であることがわかっています。ただ、そのためには社会の側からの福祉面の援助をいただかなければなりません。さいわい、数年前に障害者福祉基本法という法律ができて、身体障害者や知的障害者（精神薄弱者を今年から正式にこの名で呼ぶようになりました）とともに精神障害者も同じ法のもとで福祉面を共有する努力がスタートしているようなこともご承知ください。

というもろもろのことを考え合わせると、精神病の人が電話をかけてくる可能性は十分にあります。

* * *

というような今日の事情を含めて「精神病」についてできるだけわかりやすく解説する小冊子を最近書きました。（岩波新書「精神病」）もし、お時間があればご覧いただきとうございます。もちろん、登校拒否もいじめも児童虐待もわれわれの大事なテーマです。が、癌のことを全然知らない保健知識がうすっぺらなのと同じで、精神病のことを全く知らないでするカウンセリングもちょっと弱すぎる、と思うのです。

（愛知いのちの電話協会理事・精神科医）

精神病のこと

笠原嘉





かんぽ こころの健康増進セミナー

「思春期をのりこえる」(要約)

講師 成田 善弘

今日は「思春期をのりこえる」というテーマでお話をしてその後皆さんからご質問やご意見があれば承りたいと思います。私は精神科の臨床医として青年期の患者を診て参りました。若者を理解する手掛かりとして、むしろこころの病だとかそういう方向から話をするようになります。

最近、青年期の若者によく見られる病態にはどんなものがあるか

非常に多いのはうつ病ないしはうつ状態といわれるものです。青年期のうつ病というのは、いかにも憂うつそうに沈み込んでいるとは限りません。例えば眠れないとか、体重が減少するとか、痛みがあるとかですね。それから、それまでに真面目だった人が、規則違反が増えるとか遅刻が増えるとか、ケンカが増えるとか、そういうことですね。それから一番重要なことは自殺の危険があります。うつ状態を早くキャッチして治療することは非常に重要なことです。その次に最近よく見られるのが摂食障害ですね。しかも拒食、食べないだけでなく過食ですね。食べ過ぎるけれども痩せています。特に若い女性に非常に多いです。それからまた対人恐怖症は昔から青年期の病気と言われていますが、この頃は視線恐怖症といまして、自分の目つきがきつい目つきだとか、いやな目つきをしていると、そのために他の人に悪い印象を与えて、他の人から嫌われるというふうに思っている、そういう対人恐怖症ですね。それから体臭恐怖といって、自分の体から嫌な臭いが発するので、そのためにまわりの人に嫌われて避けられる、とそういう対人恐怖が増えていきます。つまり恥ずかしいという気持ちよりは、周りに対して脅えの気持ちを持っているんです。それから非常に多いのは、行動の面で問題がある人達、行動障害とい

ますが、例えば不登校ですね。それからこどもの親への暴力ですね。それからリストカットとかその他の自傷行為ですね。薬を飲むというのが多いようです。それから性的な問題行動、中学生ぐらいから性的な体験を持っている若者が非常に多いですね。

以上が大体非常に多い状態なんですけれども、最近それほど多くはないけれども注目されているのが乖離症状^{かいり}というのです。一般には多重人格という言葉で知られています。それから脅迫症ですね。何十回と手を洗わないと気がすまない不潔症、ガス栓とか電気のスイッチを何べんも切らないと気がすまない確認脅迫、自分でも不合理だと思う観念が浮かんで確認せずにはいられない強迫観念、何をやるにも非常に完全主義的にやるということもあって、大変動きがスローになります。

よく見られる病態に共通する特徴

この頃、青年期でたくさん来る患者にみられる特徴を四つ申し上げます。

その第一が男女の差がなくなったということですね。以前は登校拒否、学校へ行かないということが問題になり始めた頃は男の子の問題でした。それから対人恐怖ですね。これも戦争前は男の子の病気だった。家庭内暴力でも女の子の家庭内暴力ってのがあります。つまり男らしさとか、女らしさという伝統的なそういう型が、だんだん消失して女の子か、男の子かという区別が少なくなってきたし、女の子にも男の子にも同じようにストレスがかかるようになったのです。それから二番目の特徴は全体に脅迫的な傾向をもつ人が多い、几帳面で完全主義ですね。三番目の特徴は、この頃の人にはなかなか恥ずかしいとは言いません。大体どう言っているかという、まず怖いと言います。その次にムカツクと言います。それからキレルと言うんです。いろいろな分化した感情、例えば懐かしいとか、いとおいしいとか、悲しいとか、そういう分化した感情を表現するボキャブラリーが貧困です。四番目の特徴は自分で悩んだり、不安になったり、憂うつになったりして、そういう感情の中に浸っていることができないのです。

思春期・青年期にどんな発達課題があるか

その第一が体の変化、急激に思春期・青年期には身体的変化が起きます。それから第二性徴が出現しますから自分の体が変わります。青年にとっ

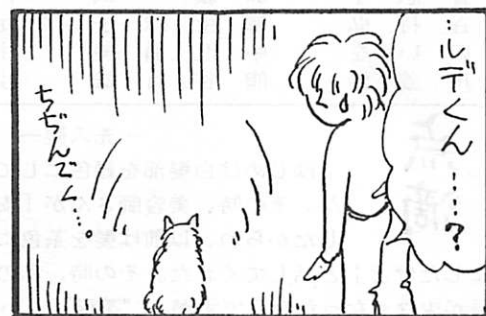
ては身体が変化することを受け入れることが青年期の大きな課題です。この身体の変化を受け入れることのやりそこないというのが一番端的に表れているのが摂食障害です。特に痩せ症の人ですね。二つ目の発達課題は親から分離するということです。具体的にどういふふうの問題になってくるかという親に秘密を持つ、秘密ができるということです。あるいは子どもが親にうそをつく能力が出来る、これが分離個体化の上で重要なことです。三番目の発達課題は、同性の遊び仲間に参加するということです。何でも一緒に行動して、二人の宝物とか、そこで「我々の」という意識が発生するのです。そういうチャム（男の子の親友）を作ることが出来るかどうかということが思春期、特に前思春期に重要な課題です。それから四番目に、現実的な自我理想の形成というんですが、アイデンティティーという言葉をご承知だと思います。自分が何者かということです。だんだんその確立が先送りになってきます。これを日本の精神分析で高名な小此木先生は、モラトリアム人間というふうに言っています。自分がこうなるということを決めるのを猶予して、それをどんどん先送りしてアイデンティティーをこうだと決めずにいる。それから五番目の課題が異性との親密な関係を確立する。

親はどういふふうにしたらいいか

親はどういふふうにしたらよかろうかというお話を致します。母親の罪悪感をやわらげることが僕らがやっている一番最初の事です。その次はですね、家族の中での境目ですね、境界を作るように留意します。それから子どもを大人扱いしないといけないですが、どこで大人扱いするかという言葉の上で大人扱いする。それから親はどうかで価値基準を明示して、ここは譲れないという価値をしっかりと子どもに伝授する必要があります。それから、言行一致が大切なんです。言行一致で基本的価値基準だけを伝達しておれば、存外子どもはそういう親をちゃんとそれなりに認めることが多いようです。そのために親自身が、自分の人生を充実して生きるということが大変大切です。

(椋山女学園大学人間関係学部教授)

文責一編集委員会



ご援助ありがとうございます

1998年10月1日より12月末日までに下記の方々から暖かいご支援をいただきました。一同深く感謝いたしますと共にご報告申し上げます。(順不同・敬称略)

なお、上記期間内に何度もご寄付くださった方もお名前は1回にさせていただきます。

社会福祉法人愛知のちの電話協会
理事長 長岡 利貞
財務委員会

【賛助会員A】

高岡 勇太郎	崔 得 海	藤 吉 康 司	金 山 秀 吉	伊 藤 美 江
小嶋 洋 一	金 澤 強	永 大 永	中 八 野 廣 子	小 笠 原 康 男
佐々木 武 昭	出 芳 昌	島 村 山	山 野 木 口 本 部 珠 原	岡 田 本 村 藤 松 藤
野田 晏 子	福 田 川 幸 静 郁 正	大 川 片 森 大 内	高 伊 文 柳	鈴 澤 加 植 伊
長岡 稔	中 須 北 前	矢 藤	高 伊 文 柳	津 加 植 伊
服部 みやみ	須 北 前	森 大 内	高 伊 文 柳	津 加 植 伊
守野 暢 洋	須 北 前	森 大 内	高 伊 文 柳	津 加 植 伊
笠井 康 助	須 北 前	森 大 内	高 伊 文 柳	津 加 植 伊
笠井 康 助	須 北 前	森 大 内	高 伊 文 柳	津 加 植 伊
豊田 幹司郎・彬子	須 北 前	森 大 内	高 伊 文 柳	津 加 植 伊

【会費(個人)】

豊田 壽子 豊田 英二

【賛助会員B】

尾関 静 枝	石 田 義 人	伊 藤 正 征	橋 本 茂 乃	三 輪 淑 子
伊藤 宗太郎	伊 藤 恵 美 子	鈴 木 美 子	中 辻 三 千 代	黒 田 良 恵 子
亀山 千恵子	加 藤 倫 子	加 藤 宅 光 孝 康 忠 敏 充	佐 久 間 山 田 仁 美 代 子	奈 松 隈 限 大 伊 土
尼玉 光 雄	金 子 井 田 宣 重 宜	小 池 福 岩 小	青 寺 岡 部 治 山 志 正 一	堀 大 限 藤 屋
伊藤 沼 育 子	浅 山 持 田 早 渡	小 池 福 岩 小	岡 部 治 山 志 正 一	堀 大 限 藤 屋
鎌倉 勝 澄 子	持 田 早 渡	小 池 福 岩 小	岡 部 治 山 志 正 一	堀 大 限 藤 屋
植田 望	早 渡	小 池 福 岩 小	岡 部 治 山 志 正 一	堀 大 限 藤 屋
芝原 慶次・ゆかり	早 渡	小 池 福 岩 小	岡 部 治 山 志 正 一	堀 大 限 藤 屋

【賛助会員C】

泉谷 恵 子	加 藤 武	河 村 公 子	能 登 みい子	森 田 咲 子
神谷 将 弘	柳 生 球 子	足 立 克 己	小 川 邦 泰 子	鶴 田 和 敦 子
河野 田 将 義	柳 北 昌 行	中 川 晋 介	早 川 律 国 弘	水 谷 野 隆 市
相川 義 治	熊 谷 行 雄	小 出 芳 典	鈴 木 国 弘	平 野 隆 市

点 滴

—先入観—

はじめは白髪部を緑色にしてみた。白髪が目立ちを少なくし、又、おしゃれ心からでした。その時、美容師さんが「安室奈美江から“茶髪”が少し世に認められるようになりましたからね、以前は髪を茶色にするだけで、不良、水商売など悪いイメージで見られていましたけど」と話してくれた。その時、私の目からウロコが落ちた。車椅子などの障害者に対して、偏見が少なくなった今日ですが、“茶髪”というだけで、その人の人格を決める見方をしている気がした。自分の髪を茶色に染めてみると、周りの反響はすごかった。「今頃ヤンキーになったの？」と笑う友や「どうしたの?」「変いねえ」と、多くの人に言われ、母は「やめなさい。恥ずかしい」と言った。黒くて重い感じが嫌だっただけで、私の中味は変わっていない。けれど、すれ違う人にジッと見られている感じがした。日本人は、髪も瞳も肌も同一人種なので、そこから外れる者に対するの偏見が強い。皆が〇〇だと自分も〇〇しなければ…という意識の強い人種である。外国の人に“日本は恥の文化”と言われる事でも解る。“皆と同じにしていれば何をしても良いのだろうか?皆と違う事だといけぬのか?”取り分け、茶髪はまだ差別される気がする。同じ髪が茶色(金色)でも外国人のそれとは違う見目がある気がする。

何が正しくて、何が間違っているのか。茶髪にしている時こそ、自分の言動一つ一つが、問われている気がした。

(N・Y)

青島美代子 柳田陽子 舟橋欽一 酒井ゆかり 武宮恵子 小幡喜代子 坂浦美登理 佐藤正輝 日本福音ルーテル復活教会婦人会	山田武昌 杵山達雄 今泉久 浅野宗 梅沢晴 栗田美津 常富佳 服部伸 内藤克	田山武昌 山泉達雄 野野久 沢野宗 田野晴 富田美津 部佳 伸 克	太田重一 西尾深 末田里 鈴木香 松原ひ 北郷陽 須と 榎よ 金正な	福田重一 山川深 川野里 林み 近ろ 細子 岡子 高を	田崎佳代子 崎京秀子 村妙純子 藤多美 川美 田代 橋美 江一	花西村三智枝 西富澤敏夫 島田居平茂 山松本和 山本下昭 松永タ子 倉久乃カ子 久乃婦子
---	--	---	--	--	--	---

【寄付金】

内中管風大守武野	川川沼岡西田保村	正鋪つね子 沼良成て輝純	邦子 子長る彦一	見田榎石金坂生上	木畑本金子東沼田	木久弘範信克き	晴美江幸子吾芳よ	美治江幸子吾芳よ	橋岡吉佐神野福鶴	本崎田藤野口岡野	茂和嘉啓博敬秋	乃子聖孝子之子信	津小高杉柳鎌鬼	村島橋藤田田頭	俊丈郁順陽蓉明	充夫子平子子枝	小清大生塚守小	野水洞田田野栗	孝将陽純道光厚	児之子子生重紀
----------	----------	-----------------	-------------	----------	----------	---------	----------	----------	----------	----------	---------	----------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------

ロゴスセンター R.A.メリット ブルデンシャル生命保険株式会社名古屋支社
 愛宕山教会婦人会 幼き聖マリア修道会 日本キリスト教団愛知教会 カトリック尾西教会
 岡崎修道院 聖パウロ女子修道会 日本福音ルーテル名古屋教会 ボーイスカウト愛知98団
 ガールスカウト愛知48団 カトリック東山教会 聖心会名古屋修道院

【クリスマス歳末募金】

豊田江美 加藤みゆき 川崎秀子 梨本將代 安原律子 多和善平 大橋玲子 竹井瑞子 小知和優 坂本康信 飯塚重五郎 坂浦正輝 高橋孝子 渡辺香代子 岩佐敏志 平尾ミチ子 泉	小島丈夫 小川祐美子 榎尾康修 池田理恵・理彰 林野温江 長竹信恒 牧岡恒夫 松田昭清 西野悦美 中野村紘子 神野ひろ子 野戸一也 横地欣久 倉	松浦三千夫 柳澤幸輝 河村敏子 児島龍好 野村好喜 河野登子 森白浩治 山田久子 林日薫 四村澄江 志安武男 水沢みち子 佐藤辰陸 松村享 水野好 北条示	浦澤三幸 村敏子 島村好喜 野田浩治 田田久子 日村薫 立澄江 安武男 水沢みち子 佐藤辰陸 松村享 水野好 北条示	水野真 豊田壽子 西田スエ子 浅野平 鳥居野平 大島節 粟田美津 石田義佐 中尾知 飯藤よし 須佐一 佐岩亮 梶原邦 岩野嘉 水西三 野ヨナの会	鈴木敦 豊田英和 生川和 菅和田い 多和木富 鈴津小尾止 片相綱雅 伊藤馬康 小藤み 近野ま 町野直 梶田啓 高橋隆 芝原慶次・ゆかり	教子二 英和子 和田み 木富次 尾綱彦 馬康人 藤み 澤ま 野啓 田隆 橋和 栄
---	---	--	--	---	--	---

名古屋ユニオンチャーチ 聖マリアの無原罪修道会 押切カトリック教会 カトリック蟹江教会
 日本キリスト改革派教会八事教会 名古屋ワイズメンズクラブ 日本キリスト教団熱田教会婦人会
 日本基督教団春日井教会 カトリック平針教会 金城学院高等学校 八事聖靈幼稚園
 聖ドミニコの宣教修道女会岡崎修道院 金城学院メサイア委員会 日本キリスト教会名東教会婦人会
 栄冠幼稚園 聖母カテキスタ会本部 カトリック五反城教会 日本基督教団中京教会婦人会
 聖国天使園 カトリック恵方町教会 聖霊奉侍布教修道女会 ドミニコ会聖ヨゼフ修道院
 井上幼稚園 日本キリスト教団名古屋教会 日本基督教団岡崎教会 日本キリスト教団豊田教会

【賛助寄付】

東海銀行総務 株式会社常盤製作所 中部電力株式会社 大宝運輸株式会社 株式会社松坂屋
 名古屋鉄道株式会社 東邦ガス株式会社 東名サニタリー株式会社 富士ゼロックス端数クラブ
 鈴木産業 理研産業株式会社 株式会社アラキ製作所 株式会社オチアイネクス
 カルビー株式会社名古屋支店 名証正会員協会 株式会社三瑠プレジジョン 株式会社ワーロン
 株式会社東海通信資材サービス 名古屋中村法人会 株式会社杉浦製作所 武田機工株式会社

